



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タカチホ
コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,067	1.6	123	△5.9	124	△5.5	96	△12.4
2024年3月期第1四半期	2,034	6.7	131	1.3	131	1.6	109	△29.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 96百万円 (△13.0%) 2024年3月期第1四半期 110百万円 (△29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	149.44	—
2024年3月期第1四半期	172.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	4,420	1,890	42.8	2,942.55
2024年3月期	4,263	1,820	42.7	2,832.71

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,890百万円 2024年3月期 1,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	2.3	450	2.5	447	1.5	315	△25.6	490.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	727,500株	2024年3月期	727,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	84,997株	2024年3月期	84,876株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	642,546株	2024年3月期1Q	636,096株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の拡大、インバウンド需要の拡大が続き、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。

一方で、円安等による資源価格の上昇や原材料価格の高騰、物価上昇による節約志向と消費マインドの冷え込みなど、先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、「企業価値の向上 企業価値を意識した業務推進」をスローガンに掲げ、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,067百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は123百万円（前年同四半期比5.9%減）、経常利益は124百万円（前年同四半期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、開発商品の拡充をはかり積極的な商品展開を実施したものの、物価上昇による節約志向や消費マインドの冷え込みなどに影響を受けたほか、みやげ事業の開発人員をみやげ卸売事業に集約したことにより費用が増加し、売上高は1,585百万円（前年同四半期比1.5%増）となり、営業利益は147百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、特に旬粋事業においてブランドガイドラインの見直しを実施し、新たなガイドラインに沿った新商品展開、商品構成の見直しに加え、コスト消費需要に対応するためテイクアウトの充実をはかったこと及びみやげ事業の開発人員をみやげ卸売事業に集約したことにより、売上高は215百万円（前年同四半期比7.8%増）となり、営業利益は18百万円（前年同四半期比146.2%増）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、物価上昇による節約志向や消費マインドの冷え込みなどに影響を受けつつも、新商品の投入や既存商品の規格変更及び価格変更等リニューアルを進めたことにより、売上高は40百万円（前年同四半期比19.7%増）となり、営業利益は8百万円（前年同四半期比51.1%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、イベントの実施や飲食及び付帯設備の拡充により来客数が増加しましたが、資源価格の上昇による運営費増加により、売上高は71百万円（前年同四半期比6.6%増）となり、営業利益は5百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。景気の緩やかな回復によりテナントの入居が安定推移したことにより、賃料収入は37百万円（前年同四半期比1.5%増）となり、営業利益は13百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景として増加したアウトドアユーザーの需要が一巡したほか、テントなどの高額商品を中心に需要が減退し、売上高は104百万円（前年同四半期比14.5%減）となり、営業利益は1百万円（前年同四半期比34.7%減）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、飲食店の運営が含まれます。物価上昇による節約志向や消費マインドの冷え込みなどに影響を受け、売上高は11百万円（前年同四半期比5.5%減）となり、営業損益は2百万円の営業損失（前年同四半期は0百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,211百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円(8.5%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が125百万円、商品及び製品が86百万円、それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円(0.8%)減少いたしました。これは主に建物が6百万円、繰延税金資産等により投資その他の資産のその他が4百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,420百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円(3.7%)増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円(13.3%)増加いたしました。これは主に短期借入金が182百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円(5.2%)減少いたしました。これは主に長期借入金が64百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円(3.5%)増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円(3.9%)増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益96百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.77%(前連結会計年度末は42.70%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日開示の2024年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	834,674	777,964
受取手形及び売掛金	697,126	823,007
商品及び製品	430,731	516,794
原材料及び貯蔵品	43,113	53,047
その他	33,377	42,552
貸倒引当金	△1,249	△1,426
流動資産合計	2,037,774	2,211,939
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	549,986	543,416
土地	902,820	902,820
その他（純額）	95,905	91,267
有形固定資産合計	1,548,712	1,537,503
無形固定資産	169,885	168,410
投資その他の資産		
敷金及び保証金	113,386	113,278
その他	403,407	398,961
貸倒引当金	△10,018	△10,023
投資その他の資産合計	506,775	502,216
固定資産合計	2,225,372	2,208,130
資産合計	4,263,147	4,420,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,168	433,560
短期借入金	327,116	509,608
未払法人税等	46,383	27,534
賞与引当金	51,629	74,767
契約負債	13,308	13,413
その他	317,371	245,470
流動負債合計	1,150,978	1,304,355
固定負債		
長期借入金	976,912	912,358
資産除去債務	96,162	96,508
その他	218,726	216,251
固定負債合計	1,291,801	1,225,118
負債合計	2,442,779	2,529,473

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	701,882	701,882
利益剰余金	270,550	340,870
自己株式	△166,409	△166,802
株主資本合計	1,806,023	1,875,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,343	14,646
その他の包括利益累計額合計	14,343	14,646
純資産合計	1,820,367	1,890,596
負債純資産合計	4,263,147	4,420,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,034,772	2,067,085
売上原価	1,466,135	1,494,031
売上総利益	568,636	573,053
販売費及び一般管理費	436,961	449,101
営業利益	131,674	123,952
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	325	447
受取事務手数料	310	170
受取手数料	1,335	1,171
その他	836	704
営業外収益合計	2,823	2,505
営業外費用		
支払利息	2,445	1,984
その他	642	326
営業外費用合計	3,087	2,311
経常利益	131,411	124,147
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	131,411	124,147
法人税、住民税及び事業税	25,271	24,003
法人税等調整額	△3,435	4,119
法人税等合計	21,835	28,122
四半期純利益	109,575	96,024
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,575	96,024

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	109,575	96,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,091	302
その他の包括利益合計	1,091	302
四半期包括利益	110,666	96,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,666	96,327
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	22,261千円	20,060千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約 から生じる収益	1,562,170	200,125	33,780	67,408	—	122,636	1,986,120	12,089	1,998,210	—	1,998,210
その他の収益	—	—	—	—	36,562	—	36,562	—	36,562	—	36,562
外部顧客への 売上高	1,562,170	200,125	33,780	67,408	36,562	122,636	2,022,682	12,089	2,034,772	—	2,034,772
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,221	—	60,645	—	7,200	—	85,067	39,883	124,951	△124,951	—
計	1,579,392	200,125	94,426	67,408	43,762	122,636	2,107,750	51,972	2,159,723	△124,951	2,034,772
セグメント利益 又は損失(△)	165,576	7,578	5,456	5,079	13,421	2,944	200,056	△948	199,108	△67,433	131,674

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約 から生じる収益	1,585,616	215,802	40,424	71,887	—	104,823	2,018,554	11,427	2,029,981	—	2,029,981
その他の収益	—	—	—	—	37,103	—	37,103	—	37,103	—	37,103
外部顧客への 売上高	1,585,616	215,802	40,424	71,887	37,103	104,823	2,055,657	11,427	2,067,085	—	2,067,085
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,903	—	65,853	—	7,200	—	89,957	39,855	129,812	△129,812	—
計	1,602,519	215,802	106,278	71,887	44,303	104,823	2,145,615	51,282	2,196,897	△129,812	2,067,085
セグメント利益 又は損失 (△)	147,010	18,661	8,242	5,014	13,918	1,923	194,771	△2,480	192,291	△68,339	123,952

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。